

素晴らしい進路を実現するために⑤!!

志望校が決まれば・・・

次は受験の方法を決めよう

## 1 第1希望は自分で決める

将来の夢を実現するために自分のあったコースを決めます。

前回の学年通信で、公立高校・私立高校のコースを紹介しました。まずは、ホームページで調べる、実際にその高校の体験学習に参加してみるなどして第1希望のコースを選んでください。後になって「自分の考えていたコースと違う」となるとは大変です。自分の未来に関わることです。先生や保護者の方の話を参考にして、最後は自分で後悔しないように決めること。

## 2 第1希望が公立高校なのか私立高校なのかで、受験の方法が決まる

### (1)私立高校が第1希望の場合 (第1希望 私立高校 第2希望 公立高校)

日程的に、2月に私立高校の受験・2・3月に公立高校の受験ということで、私立高校の受験が、公立高校より先にあります。第1希望が私立高校なので、私立高校に合格すれば、進学する高校が決定します。その後、第2希望の公立高校は受験しません。

●私立高校が第1希望の場合の出願形態 (学校により呼び方や扱い方が少しずつ違いますが・・・)

- ① 推薦 (すいせん)・・・中学校長が、学力・生活態度に優れていると認めた生徒を推薦します。合格すれば必ずその高校へ進学します。(第1希望ですから当然です。)
- ② 専願 (せんがん)・・・合格すれば必ずその高校へ進学します。(第1希望ですからこちらも当然です。注：公立高校は、すべての高校が専願です。)

### (2)公立高校が第1希望の場合 (第1希望 公立高校 第2希望 私立高校)

日程から先に第2希望の私立高校を受験します。次に第1希望の公立高校を受験します。その場合の私立高校の受験形態を併願又は一般と呼びます。(注：公立高校の出願形態は、全てが専願です。)

●私立高校が第2希望の場合の出願形態

- ① 併願 (へいがん)・一般 (いっぱん)・・・その学校を第2希望、又はそれ以下の志望として受験するもので、合格しても入学するかどうかは本人の意思で決めることができます。すなわち、私立高校が合格しても、第1希望の公立高校が合格すれば、入学しないという選択ができます。(合格後の入学が強制されませんので、推薦や専願の合格基準より高くなります。)

では、本日の進路情報は、難しかったですね。ぜひ、推薦・専願・併願（一般）の3つの受験形態まで理解してください。次回は、選抜方法について、説明します。

（注：昨年度の選抜要項で説明しています。）

## 「こんなクラスにしたい！！1・2組編」

緊急事態宣言が解除され、いよいよ学校の再開の日が近づいてきました。そこで、中学校生活最後のクラスをどんなクラスにしたいの「自己紹介カード」より紹介します。本日は、1・2組の仲間です。読んでください。（次回は3・4組の「こんなクラスにしたい！」を紹介します。）

### 1組

- 明るく楽しいクラスにしたい
- 3年間で1番思い出に残るような、笑顔が絶えない、最高のクラス！！
- 楽しくて、仲の良いクラス
- 生涯忘れることがないような思い出を作れるクラス
- みんなで協力して、楽しく、おもしろい、やる時はやる3-1にしたい！
- 楽しいクラス
- 盛り上がるクラス
- にぎやかで、メリハリがあるクラス
- 元気いっぱい、笑顔いっぱいなクラス
- みんな笑顔、楽しいクラス
- みんな仲良しで楽しいクラスにしたい！
- 楽しく平和
- みんなで仲良く協力し合えるクラス
- 平和なクラス
- 楽しくて、この3年間で一番良かったと思えるクラス
- めっちゃ楽しいクラス！！

### 2組緑

- 楽しいクラス・面白いクラス
- めっちゃ、楽しいクラス
- 卒業するときに3の2で良かったと思えるようにしたい。
- みんなが笑顔で楽しいクラス
- 居心地の良いクラス
- みんなが楽しそうにするクラス
- 明るくて、楽しいクラス
- いつも笑ってるクラス
- 仲の良いクラス
- みんなで協力して頑張れるクラス